



平成 19 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 日本精密株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡林 博
(J A S D A Q ・ コード : 7 7 7 1)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 金 昌明
電話 048-225-5311

平成 20 年 3 月期中間 (連結・単独) 業績予想との差異及び
通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の中間期業績予想について、平成 19 年 8 月 10 日付当社「平成 20 年 3 月期 中間 (連結・単独) 業績予想及び通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の中間期業績予想と、平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の通期業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1 , 6 1 2	0	2 1	1 2 5
今回修正 (B)	1 , 5 3 5	1 0 6	1 0 8	2 1 2
増減額 (B - A)	7 7	1 0 6	8 7	8 7
増減率 (%)	4.8	-	-	-
前期 (平成 18 年 9 月中間期) 実績	1 , 6 2 6	3 4	2	1 8

(2) 修正理由

当中間期の売上高につきましては、時計バンド事業では、海外高級時計メーカー向において新モデルへの切替の遅れから 599 百万円 (計画比 32 百万円減少) となりました。国内大手メーカー向において昨年上期より大幅増加しましたベトナム子会社で生産しております IP 加工時計バンド等が、急激な在庫調整の影響を受け、104 百万円の減少となり、香港支店での G-SHOCK、G-ms 向金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの売上増加もありましたが、523 百万円 (計画比 31 百万円減少) となりました。メガネフレーム事業では、海外大手メーカーへの順調な売上増加があり 234 百万円 (計画比

29 百万円増加)となりました。応用品事業では、海外大手除電器メーカー向除電器の新製品発売の遅れおよび防犯機器の受注減少があり 177 百万円(計画比 43 百万円減少)となりました。これらの要因により売上高は 1,535 百万円(計画比 77 百万円減少)となりました。

営業利益につきましては、売上高減少およびそれによる操業度ダウンの影響で売上総利益の計画比 42 百万円の減少と、販売費及び一般管理費の計画比 63 百万円の増加があり、この結果営業損失は 106 百万円(計画比 106 百万円減少)となりました。販管費の増加の内訳につきましては、主に給与等件費関係ではメガネフレーム部門の品質・技術力向上と販売アップを狙った先行投資人員増 7 名による増加と税制適格年金制度の 5 年毎の再計算期到来による見直しで、過去勤務債務積立不足額が発生し退職給付費用の増加したこと等により 31 百万円の増加となりました。経費関係では、訴訟関係費用及び社債発行関係費用の増加等により 32 百万円の増加となりました。

経常利益につきましては、受取手数料等営業外収益 25 百万円(計画比 25 百万円増加)と支払利息等営業外費用 27 百万円(計画比 5 百万円増加)があり、経常損失は 108 百万円(計画比 87 百万円損失増加)となりました。

中間純利益につきましては、投資有価証券売却損 100 百万円の特別損失計上と法人税等調整額 3 百万円(計画比増減なし)があり、中間純損失は 212 百万円(計画比 87 百万円損失増加)となりました。

(3) 通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,648	174	128	21
今回修正(B)	4,049	0	30	137
増減額(B-A)	401	174	158	158
増減率(%)	11.0	99.7	-	-
前期(平成 19 年 3 月期)実績	3,362	105	66	218

(4) 修正理由

通期売上高につきましては、時計バンド事業では、海外高級時計メーカー向には新モデルへの切替が 9 月より始まっており、通期で 1,394 百万円(計画比 154 百万円増加)と大幅増加を見込んでおります。中間期同様、国内大手メーカー向には、ベトナム子会社での IP 加工時計バンドが急激な在庫調整の影響を受け、また北米向企画等の減少があり、香港支店での G-SHOCK、G-ms 向金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの売上増加もありましたが 1,190 百万円(計画比 170 百万円減少)と見込んでおります。メガネフレーム事業では、国内大手メガネメーカーとの取引開始と平成 19 年 10 月 16 日子会社化した株式会社村井の売上高寄与 682 百万円があり、国内大手メーカーの事業終了との経営方針の変更の影響もありますが 1,091 百万円(計画比 523 百万円増加)を見込んでおります。応用品事業では、釣具部品は順調に増加しておりますが、海外向に大幅増加を見込んでおりました静電気除去器及び防犯機器の受注遅れがあり 372 百万円(計画比 107 百万円減少)を見込んでおります。これらにより売上高は 4,049 百万円(計画比 401 百万円増加)を見込んでおります。

営業利益につきましては、子会社となりました株式会社村井の営業利益への寄与 19 百万円を見込んでおりますが、ベトナム子会社で生産をしています時計バンド、メガネフレームの売上減少、それによる操業度ダウンの影響で売上総利益の計画比 68 百万円減少、販売費及び一般管理費が株式会社村井を除いて 866 百万円と計画比 125 百万

円の増加により営業利益は 442 千円（計画比 174 百万円減少）と見込んでおります。販管費の増加の内訳につきましては、主に給与等人件費関係ではメガネフレーム部門の品質・技術力向上と販売アップを狙った先行投資人員増 7 名による増加と税制適格年金制度の 5 年毎の再計算期到来による見直しで、過去勤務債務積立不足額が発生し退職給付費用の増加したこと等により 43 百万円の増加となりました。経費関係では、訴訟関係費用、社債発行関係費用、内部統制の社内環境整備費用、売上増加による販売手数料の増加等により 81 百万円の増加となりました。

経常利益につきましては、受取手数料等営業外収益 25 百万円（計画比 25 百万円増加）と支払利息等営業外費用 56 百万円（計画比 5 百万円増加）があり経常損失は 30 百万円（計画比 154 百万円損失増加）と見込んでおります。

当期純利益につきましては、投資有価証券売却損 100 百万円の特別損失計上と法人税等調整額 7 百万円（計画比増減なし）があり当期純損失は 137 百万円（計画比 158 百万円損失増加）と見込んでおります。

2. 平成 20 年 3 月期単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	1,327	17	4	130
今回修正（B）	1,310	98	65	211
増減額（B - A）	17	81	61	81
増減率（%）	1.3	-	-	-
前期（平成 18 年 9 月中間期）実績	1,298	42	37	19

(2) 修正理由

当中間期の売上高につきましては、時計バンド事業では、海外高級時計メーカー向において新モデルへの切替の遅れから 621 百万円（計画比 22 百万円減少）となりました。国内大手メーカー向において香港支店での G-SHOCK、G-ms 向金属バンド及び金属樹脂コンポバンドの売上増加があり 399 百万円（計画比 46 百万円増加）となりました。これにより売上高は 1,020 百万円（計画比 23 百万円増加）となりました。メガネフレーム事業では、海外大手メーカーへの順調な売上増加と株式会社村井への売上減少がありました。ほぼ計画通り 211 百万円（計画比 4 百万円増加）となりました。応用品事業では、海外大手除電器メーカー向除電器の新製品発売の遅れおよび防犯機器の受注減少があり 78 百万円（計画比 45 百万円減少）となりました。これらの要因により売上高は 1,310 百万円（計画比 17 百万円の減少）となりました。

営業利益につきましては、売上高減少による売上総利益の減少と、販売費及び一般管理費の増加 65 百万円により営業損失 98 百万円（計画比 81 百万円損失増加）となりました。販管費の増加の内訳につきましては、主に給与等人件費関係ではメガネフレーム部門の品質・技術力向上と高級品の開発及び新規顧客開拓を狙った人員増 7 名による先行投資費用の増加、税制適格年金制度の 5 年毎の再計算期到来による見直しで、過去勤務債務積立不足額が発生し退職給付費用の増加したこと等により 31 百万円の増加となりました。経費関係では、訴訟関係費用、社債発行関係費用、内部統制の社内環境整備費用の増加等により 34 百万円の増加となりました。

経常利益につきましては、受取利息等営業外収益 57 百万円（計画比 23 百万円増加）と支払利息等営業外費用 26 百万円（計画比 4 百万円増加）があり経常損失 65 百万円

(計画比 61 百万円損失増加)となりました。

中間純利益につきましては、投資有価証券売却損 100 百万円、ベトナム子会社の中間期純損失により貸付金に対する貸倒引当金繰入 46 百万円の合計 146 百万円特別損失計上(計画比 124 百万円増加)と貸倒引当金戻入 3 百万円の特別利益計上(計画比 3 百万円増加)及び法人税等調整額 3 百万円(計画比増減なし)があり中間純損失は 211 百万円(計画比 81 百万円損失増加)となりました。

(3) 通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	2,940	28	52	11
今回修正(B)	2,821	114	55	141
増減額(B-A)	119	142	107	152
増減率(%)	4.0	-	-	-
前期(平成 19 年 3 月期)実績	2,624	92	58	218

(4) 修正理由

通期売上高につきましては、時計バンド事業では、海外高級時計メーカー向には新モデルへの切替が 9 月より始まっており、通期で 1,424 百万円(計画比 159 百万円増加)と大幅増加を見込んでおります。国内大手メーカー向には、ほぼ計画通りの 446 百万円(計画比 13 百万円増加)と見込んでおり合計 2,270 百万円(計画比 172 百万円増加)と見込んでおります。メガネフレーム事業では、国内大手メガネメーカーとの取引開始がありますが、株式会社村井の子会社化により当初計画上本社売上に見込んでおりました売上部分 195 百万円を連結上相殺消去することによる減少があり 387 百万円(計画比 183 百万円減少)を見込んでおります。応用品事業では、海外向に大幅増加を見込んでおりました静電気除去器及び防犯機器の減少があり 86 百万円(計画比 107 百万円減少)を見込んでおります。これらにより売上高は 2,821 百万円(計画比 119 百万円減少)を見込んでおります。

営業利益につきましては、中間期の営業利益の減少 81 百万円の影響が大きく、また販売費及び一般管理費の増加 129 百万円と売上総利益の減少 13 百万円により、営業損失 114 百万円(計画比 142 百万円減少)と見込んでおります。販管費の増加の内訳につきましては、主に給与等人件費関係ではメガネフレーム部門の品質・技術力向上と高級品の開発及び新規顧客開拓を狙った人員増 7 名による増加、税制適格年金制度の 5 年毎の再計算期到来による見直しで、過去勤務債務積立不足額が発生し退職給付費用の増加したこと等により 43 百万円の増加となりました。経費関係では、訴訟関係費用、社債発行関係費用、内部統制の社内環境整備費用、売上増加による販売手数料の増加等により 86 百万円の増加となりました。

経常利益につきましては、受取利息等営業外収益 107 百万円(計画比 39 百万円増加)と支払利息等営業外費用 49 百万円(計画比 4 百万円増加)があり経常損失は 55 百万円(計画比 107 百万円減少)と見込んでおります。

当期純利益につきましては、投資有価証券売却損 100 百万円、ベトナム子会社の通期純利益 24 百万円により貸付金に対する貸倒引当金取崩 21 百万円、法人税等調整額 7 百万円と合わせて当期純損失は 141 百万円(計画比 152 百万円減少)となる見込みであります。

3. 今後の見通し

当中間期において大きく計画未達となりました事態を真摯に受け止め、ベトナム子会社での開発スピードアップとさらなる製造コストの引き下げ、本社販売力の強化が急務と考えております。

メガネフレーム事業につきましては、ベトナム政府よりチタニウム素材以外の製造ライセンスを取得出来たので、アルミニウム、プラスチック、ステンレス等及びこれらを複合したコンポジットタイプのフレームの開発に既に取り組んでおります。これらを武器に、今までの中高級品ラインに加え低価格ラインを設定し受注の増加を図り操業度の大幅アップによる収益の改善を行います。

応用品事業につきましては、デジタルカメラ、携帯電話の外装部品市場等に参入し、当社ベトナム工場の持つ精密部品加工、表面処理加工技術を生かした営業展開をする計画であります。

これら全社挙げて取り組み必ずや成果を上げ、中長期にわたる成長と企業価値の向上に努めてまいりますので、今後ともご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

以上